

令和2年度 特色ある道徳教育推進校（心の教育推進キャンペーン実施校） 流山市立東深井中学校

研究主題

平成31年度（令和元年度） 「生徒たちの道徳性を養う授業はどのようにあるべきか」

～ 『考え、議論する』道徳の授業の展開と評価の在り方 ～

令和2年度 「生徒が自らの考えを表現しあい道徳性を養うには、どのように指導を工夫するか」

～ 教材吟味を活用した展開の工夫と深めるための議論の方法、評価の在り方 ～

取組1 授業づくりの段取り ～深中スタイル～

「考え、議論する」道徳の授業を実現させるためには、考えなくなる、議論したくなるような発問をつくりたい。そのために、教材を深く理解し何をねらいとするのか授業者がはっきりさせ、それに迫る発問、展開を考えることが研究テーマの実現に迫ると考えた。

工夫1 教材吟味

1時間のゴール（ねらいとする価値）を意識して指導の組み立てを考える。

- ① ゴールは何か？（ねらいとする価値）
- ② 価値に気付く山場づくり（中心発問づくり）
- ③ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度のどれを養うための、発問をするのか。

工夫2 板書計画

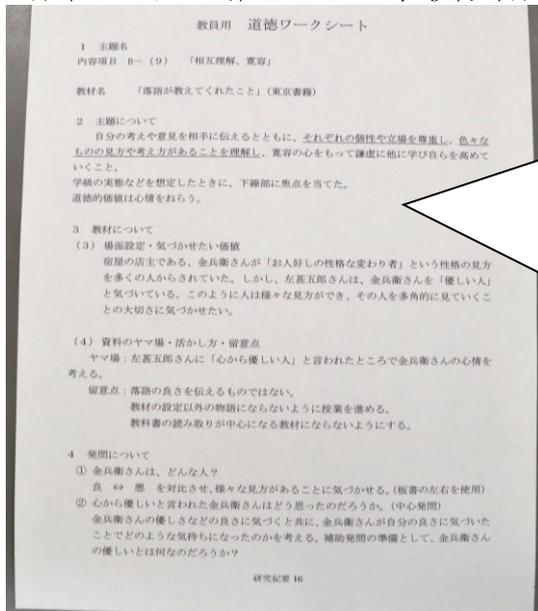
思考を促す板書作り（①場面絵②矢印③色分け④ネームプレート⑤中心発問の配置場所）

工夫3 ローテーション道徳

一つの教材を各クラスで授業展開する。そうすることで教材吟味をより深めることができる。また、同じ教材を複数回行うことで修正ができる。

工夫4 ワークシートの作成

深中スタイルの確立のために、教材吟味と板書づくりのワークシートを作成した。



【教員用 道徳ワークシート】の内容

- 4 発問について
- ① 省略
- ② 心から優しいと言われた金兵衛さんはどう思ったのだろうか。（中心発問）
金兵衛さんの優しさなどのよさに気付くとともに、金兵衛さんが自分のよさに気付いたことでどのような気持ちになったのかを考える。補助発問として、金兵衛さんの優しさとは何なのだろうか？を準備した。
※優しさという価値に迫るためには、このように金兵衛さんに視点を置くのではなく、金兵衛さんの本質的な優しさを見抜いた甚五郎に視点を置いて考えるべき。

道徳的価値→色々な見方ができた甚五郎に焦点を当てる。

※は学年で検討した内容が書いてある。

取組2 議論のさせ方

その教材や学級の実態に応じて行う。目的をもってその隊形、グループを使う。

【主な議論のさせ方の形】

- ① コの字型・・・全体で考えを共有するのによい隊形。
- ② 2人組・・・簡単な質問に対しての回答。導入に望ましい。
- ③ 4人組・・・自分の意見を交流しやすい隊形。

【話し合うグループをどう組むのか？ 教師がしっかり意図をもつ。】

- A 似た立場の者でのグループ・・・同じ立場なだけに、自分の意見が話しやすい。
- B 違う立場の者でのグループ・・・違う意見を聞いて議論できる。
- C いつもの授業でのグループ・・・普段話し慣れている分、話しやすい。

取組3 評価方法の確立

教材吟味を行うことで、ねらいとする価値を明確にできる。そのため、授業評価に関しても、ねらいに迫れた記述があるか、で判断した。また、生徒の所見としても参考にした。

- ①ワークシートを中心に評価を行う。（事実を記述するために）
- ②ねらいとした、道徳的価値についてよく考えていた教材を評価した。

・1時間の授業で考えられる生徒の評価の視点

- ①一面的な見方から、多面的・多角的な見方へ発展しているか
- ②道徳的価値の理解を、自分自身との関わりの中で深めているか

※多面的思考・・・分析的思考（多くの見方から考えることで、比較し、深め、掘り下げる）

多角的思考・・・選択的思考（自己の考え方、主張、生き方を議論などにより明確にする）とした。

※道徳的価値の理解から、自己の生き方について考えを深めているか、を評価の視点とする。

※評価の記述の基となる形を下のようにした。

前半	道徳科の授業でどのような学習活動の様子が見られたか（学習状況の様子）
後半	発言、記述、パフォーマンス等、顕著な姿が見られた教材で、どのような思いや考えがもてたか、考えを深められたか（成長の様子）

主な成果と課題

- 教材吟味をどのような視点で行えばよいのか理解したため、教材の持つ力を最大限に高められた。また、議論するポイントや授業で学ばせたいことがより明確になった。
- 生徒の発言から切り返しや問い返しを効果的に行うことができていないため、より深い議論を行えていない。また、生徒同士の議論においても同様である。
- 1学期から3学期にかけて、主に「具体的な生徒の学習状況を捉えた評価」から、より「道徳性に関わる成長の様子を捉えた全体的な評価」につながるような評価にしていきたい。

授業実践事例

中学校 第2学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 人間愛の精神を深める B 思いやり、感謝（県の視点「支え合う喜び」）
教材名 「知らなかった景色」（千葉県教育委員会 「千葉県道徳教育映像教材」）

2 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

本主題は「主として人との関わりに関する事」の内容項目「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。」を基に設定した。

人は共に助け合いながら生きていく存在であり、思いやりのある行動が人間関係を豊かにしていく。生徒も日常生活の中で親切にされることもあれば、親切にしたこともあるはずである。また、小学生の高学年では相手の立場に立ち、全ての人に思いやりをもてるように指導されてきた。そのため、助けが必要な人、障がいのある人と接するときに親切にしなければいけないという気持ちが働くと思われる。しかし、わかっているにもかかわらず慈悲や哀れみによる間違った「思いやり」から行動してしまうことがある。相手の気持ちや立場に考慮し、今自分が相手に対してどのように応答することが望まれるかを考え、思いやりをもつこと、それが最終的に自己と他者の絆を深めていくものであると気づかせたい。本教材では「思いやり」に重点を置き、本当の思いやりに迫り、その価値を大切にできる心情を養いたい。

（2）生徒の実態

心優しい生徒が多く、助けが必要な場面では優しく寄り添い、接することができる。しかし、時と場に応じた判断ができないことがあり、相手に不快な思いをさせてしまうことがある。これは、思いやりをもつことの大切さは理解しているが、相手の立場に立ち考えられていないように思える。

本当の思いやりとは、助けが必要な場面やそうで無いときにでも、相手の立場や気持ちに配慮し、自分ができることを深く考えて選択することである。そして、その思いやりをもつことが、お互いの絆を深めることへと繋がっていくことになると思う。そのために、本教材の主人公の経験から変容していく気持ちに着目し、思いやりについて考え、深めていく必要があると感じる。

(3) 教材について

本教材では、中学2年生の彩香が主人公で、パラスポーツである「シッティングバレーボール」を題材にした話である。東京パラリンピック候補選手の美智との交流や、部活動での怪我により日常生活の不便さを体験したことから、今までの自分自身の狭い考え方を広げていくきっかけとしていく。指導に当たっては、登場人物の発言に焦点を当てて考えさせたい。彩香が美智に対して「車椅子の人になんで本気になるの?」や美智が彩香に対して「私たちってかわいそうな存在?」と発言した気持ちを考えさせ、人間尊重に対する理解と共感を深める。また、祖母の発言を取り上げ思いやりの本質を理解させ、これまでの自分はどうかを振り返らせたい。そして、これまで見せなかった彩香の表情の変化に着目させ、様々な意見の中から、多面的・多角的に迫りながら思いやりがもたらす効果を考えさせたい。

(4) 他教科との関連

音楽：合唱 体育：球技（バレーボール・バスケットボール・サッカー・バドミントン）
家庭科：食生活と自立（実習）

3 本時の指導

(1) ねらい

本当の思いやりとは、相手の立場や場面により変化することだと気づき、最終的にその判断が人間の絆を深めることに結びつくことが大切であるという心情を養う。

(2) 展開

過程	時配	○学習活動と主な発問 ・予想される生徒の反応	支援の手だてと留意点
導入	3分	1 教材への関心を高める ○小さい子が転んでいたら自分はどうしますか? ・助ける ・声をかける	
展開	42分	2 教材の提示 DVD「知らなかった景色」を視聴する。(12分程度) 3 教材についての話合い ○彩香はなぜ、「車いすの人になんで本気になるの」と言ったのでしょうか。 個人(1分) → ペア共有 → 全体発表 ・自分と車いすの人は違う。 ・普通のバレーボールとは違う。 ・パラスポーツは、特別なもの。 ○「自分で頑張れるようになってほしい」と聞いた彩香は何を思ったのだろうか? 個人(1分) → ペアで意見交換(3分) → 全体発表 ・「できないから、助けなければならない」と簡単に考えている自分との違いに気付いた。 ・自分も自分の力で頑張るようになりたい。 ・本当の思いやりはその人のために何が出来るか考えることだと気付いた。 ◎中心発問 彩香が、明るい表情になったのはどのようなことに気付いたからだろうか? 個人(3分) → 4人班で意見交流(5分) → 全体共有 ・美智さんと出会い、障がいの有無ではなく、一人の人間として関わっていく生き方をすることが大切と気付いたから。 ・不便な中にも、便利に生活できるような工夫があり、今まで気付かないところに配慮があり、様々な思いやりに気付いたから。	<ul style="list-style-type: none"> ・「彩香の気持ちを考えて見ましょう。」と伝え、彩香の気持ちの変化を考えながら視聴する。 ・ワークシート配付 ・登場人物の画像を提示して確認し、コの字隊形にする。 ・車いすの人=私たちとは違うという意識があることに気づかせる。 ・発表者に注目させる。 ・思いやりの本質を考えさせる。 ・自分の考えをメモしたい場合はメモ欄を活用する。 ・仲間の意見で新しい考えが生まれたときにメモ欄を活用する。 【補助発問】 ○導入で聞いた質問に対する行為は思いやりではないのかな? ・自分の事として捉えさせ、思いやりの本質を深める。 ・テンポよく進める。 ・思いやりが人生を豊かにしていくことを気付かせる。 ・一人でじっくり考える時間を取った後、多様な考えに触れるため、小グループでの話合いを取り入れる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人に支えられながら生きているのだと気付いたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う意見や「なるほど」と思ったことに対して深く掘り下げるような話合いをする。 <p>【補助発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○～さんの意見を聞いてみんなどう思いますか？ ○どうしてそれが明るい表情に繋がったのか？ ・意見を広げ、様々な角度から考えさせる。 ・意見が具体的でない場合は問い返し、深く考えさせる。
終末	5分	4 本時の振り返り 今日学んだことをワークシートに記入。発表する。	

(3) 評価

本当の思いやりとは、どのようなことなのか自分との関わりで、多面的・多角的に考えている。また、思いやりが最終的に人間の絆を深めることになると考えている。

4 授業の様子

(1) 板書



(2) 生徒の様子

○生徒の授業中の反応

- ・主人公に焦点を当てて視聴するように促したことで物語の理解を助けることができた。
- ・仲間の発言から「思いやり」の新しい考え方を発見できた生徒がいた。

○参観者の感想

- ・問い返し、切り返しを行うことで考えを深めることができた。
- ・補助発問が自分の事として捉えるために効果的であった。
- ・写真を使うことで、記憶を呼び戻すきっかけとなった。

